



スラブ・ユーラシア研究センタープロジェクト研究会

ユーラシア諸国における キリスト教受容の比較研究

日時：

2014年11月15日(土)～16日(日)

場所：

スラブ・ユーラシア研究センター
小会議室(401)

連絡先：

望月 tetsuo@slav.hokudai.ac.jp

11月15日 14:00～14:10

開会の辞（研究会の背景と主旨について）

井上貴子(大東文化大学)

第1セッション 14:10～16:10

司会： 望月哲男 (SRC)

報告者1 松川恭子(甲南大学)「インド、ゴア州におけるポルトガル支配とキリスト教徒の現在」

報告者2 井上貴子「南インドの教会・礼拝・聖歌：土着化と多様化をめぐって」

第2セッション 16:30～18:30

司会： 井上貴子

報告者3 高橋沙奈美 (SRC)「聖人崇拝から見るロシアのキリスト教受容の独自性」

報告者4 井上岳彦(札幌学院大学)「ロシア帝国のプロテスタント布教：モラヴィア派と仏教徒の接触を中心に」

11月16日 第3セッション 10:00～11:00

司会： 高橋沙奈美

報告者5 村上志保(立命館大学)「中国におけるプロテスタントの拡大と「中国教会」の形成」

第4セッション 全体討論 11:00～12:40

司会： 望月哲男

討論者1 後藤正憲 (SRC)

討論者2 森下嘉之 (SRC)



スラブ・ユーラシア研究センター
SLAVIC-EURASIAN RESEARCH CENTER